

2016（平成28）年度前期 第二回 DUO リーグ会議

議事録

◆DUO 会議

【日 時】 2016（平成28）年7月18日（月） 17:00~19:20

【場 所】 筑波大附属 会議室

【出 席】 34 クラブ(氏 名) ※○は遅刻者

都小石川（宗友）	昭和一（折笠）	三菱養和（増子）
京華（浜道）	都向丘（石平）	筑波大附（中塚）
学習院（玉生）	豊南（塩田）	本郷（岩野）
城西（嶋野）	豊島学院（早川）	郁文館（井上）
駒込学園（○宮坂）	巣鴨（○馬場）	立教池袋（橋本）
獨協（山田）	淑徳巣鴨（○石原）	都竹早（井上）
日大豊山（海老根）	都文京（森脇）	都足立（山野）
都江北（○蓑輪）	足立学園（遠藤）	都荒川商（大塚）
中大高（加藤）		都千早（竹内）
都足立新田（小俣）	貞静学園（杉本）	都淵江（浅井）
都青井（小川）	都豊島（○丹羽）	FC西巣鴨03（岸）
文中選（井上）		

【欠 席】

【オブザーバー：選手】

筑波大学附属：志村、井山

【オブザーバー：一般】

事務局・サロン2002：岸 筑波大学大学院：本村 日大豊山：佐藤 日本サッカー協会：今関

【議事録作成者】

事務局：岸

I. チェアマン&理事会より

- 7月13日（水）に本郷高校にて理事会を開催した。出席者は、岩野(チェアマン)、井上(管理部長)、春日(事務局)、杉本(事業部長)、小金丸・玉生(学識経験理事)。

1) リーグ戦における課題について

- 理事会で下記のような課題について取り上げた。まず、2015年度に出た課題を参考として共有する。

【2015年に出た課題（参考）】

①試合当日の延期について（昨年の起きた事象・江北vs文京）

【状況】

今回、学校行事での延期がメーリングリストに流れた。メーリングリストに流れた日が当日の試合だった。当該者に確認すると、「実際に延期が決まったのは1週間ほど前のことだった。メーリングリストに流すのが遅れた」ということであった。

今後は誤解がないように前もってメーリングリストで流してもらいたい。また雨天延期になった試合などもしっかりと延期の連絡をしてほしい。

第三者が困る状況を作らないように。たとえば、スカウティングで試合を観に行ったら試合をやっていないかった。保護者が応援に行ったら試合がなかったなど。ここで課題として出たのはHPのつながりについて。以下②に・・・

②HPの更新について

～省略～

③文京Bvs駒込Bのゲームで起きた選手試合出場選手の疑問点

【状況】

インターハイの都合で文京Aの試合が延期になり、文京Aの選手たちは当日の予定がなくなってしまった。そもそも文京の選手はAB合わせて20名ほどの選手しかいなかった。Bのメンバーがギリギリであった。メンバー用紙の交換なしで試合キックオフ。後半、背番号が同じなのに明らかに違う選手（文京Aのメンバー）が総入れ替えに近い状態で出場してきた。実施要項には、半分なら出場していいというのが書かれているから問題ないという主張であったが、ケガや人数が明らかに足りないというやむを得ない状況を考えた実施要項に書かれていることである。試合に負けそうだからBメンバーの出場機会を奪ってAのメンバーが出場して勝たせるというのは趣旨が違ってくる。

実施要項2.DUOリーグへの登録手続き 2) 移籍参照

注) 上位リーグの試合に常に出場しているプレイヤーの出場は、原則として認めない。
DUOリーグ実施要項の見直しも必要だが、DUOリーグの良さである育成の場。ということである程度のグレーゾーンは残したい。もちろん実施要項の見直しはするが、それぞれの加盟クラブも紳士協定の中で戦ってほしい。

④メンバー用紙の提出・交換の徹底

プログラム原稿を見ていただければわかる通り、プログラムに載るチーム紹介のページがメンバー表の代わりとして使用することができる仕組みになっている。どの選手が先発でどの選手が控えなのかが分かるようにお互いのメンバー表の交換を徹底しましょう。本部がない場合でもお互いのチーム同士での交換は義務です。

⑤プログラムについて

～省略～

【今年度の課題について】

前年度リーグで出された課題を参考に2016年度リーグで発生した課題について、DUOリーグ会議内で対応方法を検討した。

検討課題①；試合延期について

○提議（チェアマンより）

昨年度の問題でも試合当日の試合延期についての問題提起があった。前年度は試合当日にメーリングリストで流したというだけで、当該クラブは事前に了承済みということで大きな問題として取り上げなかった。今年度起きた現象として、巣鴨 vs 竹早のゲーム。理事会のメールで流しただけなので全体には周知徹底できていないので、以下、状況説明。

【事案確認 メールで流した内容】

以下、6月22日に理事会メンバーへ流したメール。

先日、馬場先生（巣鴨高校）よりメーリングリストで6月12日(日) 巣鴨A 対 竹早の試合延期について流れました。その詳細。

昇格もかかっている公式戦なので、8人揃っていれば試合をするということが本来の公式戦のあり方。（今回は8人揃えることはギリギリできたようです）
今回のようにケガ人による順延、しかも竹早高校がグラウンドをおさえ、3日前に延期を依頼されるケースは避けなければならない。
そもそものチーム運営能力を疑わなければいけない事態であると思われます。

今回はチェアマンの嚴重注意という形で何とか延期をする形で竹早に了承を得た形だが、以下のよ
うな形をとる。(巢鴨の馬場先生には順延依頼当日に確認済み)

- ①延期の試合は巢鴨高校がグラウンドをおさえること
- ②7月末までにお互いが調整し合って試合を組むこと
- ③日程が決められなかった場合、未消化とせず、0-3での巢鴨高校の不戦敗、竹早高校の不戦勝と
する

前例としても、基本的に一方的な理由による順延は認めず、不戦敗という形であった。
今回は順延する機会を与えるが、『アドバンテージ竹早』という形をとる。

【6月29日現在】

巢鴨がグラウンドを抑え、日程調整をするというアドバンテージであったが、竹早が2日ほど、グ
ラウンドを抑えられたので、改めて日程調整の電話をしたが返答が一週間もかかり、さらに「試合
決行できない」という連絡であった。このような巢鴨の行動は、「嚴重注意が生きていないのでは？」
「試合を消化しようという努力を感じない」「そもそもの運営能力に疑問を感じる」「対戦相手のこ
とを考えていない」などと感じざるを得ない。

4地区のリーグでは、このような事態が起これば、再試合の日程期日を決め、それまでに決行でき
なければ、不戦敗とするなどの処分があった。実際、竹早は松本先生が全国総体に行き、合宿もあ
るし、8月は強化練習試合を組みたい。

チェアマン一人で決める内容ではないが私案を以下に述べたい。

チェアマン案は、今週中(7月2日まで)に巢鴨が日程調整をし、試合可能日を提示する。それが
できなければ、不戦敗とする。また、これだけ遅い対応となったため、竹早の日程も詰まっている
はず。竹早が都合をつかない場合も、同じく巢鴨の不戦敗とする。(勝ち点没収は考えていないが、
今後同様の件が生じた場合のことを理事会で話し合わなければいけないと考える)

○検討の過程

- 馬場氏(巢鴨)「ゲームができる精神状態ではなかったため試合の延期をお願いした。学校内
調整をされていて、すぐに松本先生に連絡できなかった。今後顧問を増やす。リスクを踏まえて
日程調整を行うなどの対策を考える」
- 岩野氏(チェアン)「今までのDUOリーグが細かなルールや規定がなかったのはリーグ運営
やリーグ戦についての理解があるクラブで成り立っていたから。できるのが当たり前の状態
にあったので紳士協定の中でやれていた。顧問や監督が代わる世界なのでしょうがない部分
ではあるが、できないことが当たり前になりつつある現状で、今の規約のままやれるのであ
ろうか?根底から見返す問題となった。細かなルールを設定することでDUOらしさが失われ
るのではないかと、との意見も出たが、当たり前でできているクラブには活動しにくさ、面倒
くささなどはないはず。逆にこちらが示していなかった分、引継ぎのないクラブにはわかり
にくいリーグとなっていたのかもしれない。」
- 岩野氏(チェアン)「豊島Bvs京華Aでも同じような現象が出ていた。試合開催二日前に丹
羽先生から小金丸先生への電話があり、「試験一週間前で活動できないから試合ができない」
という内容であった。こちらは報告がなかったため対応ができなかったが、巢鴨と同じく、
豊島高校が日程を調整しグラウンドを調整できなければ以下、巢鴨と同様の処分(豊島が日
程調整グラウンド調整をし、できなければ没収試合)とする」
- 岩野氏(チェアン)「一昔前まで、リーグの途中に必ず再度集まって会議を行っていた。それ
が行われないのが当たり前になっていることが問題である。2月の日程調整会議から7月
のリーグ締めめの会議まで何も集まりがないので日程の確認や、問題の共有ができない。もし、
分科会ができないのであれば、5月下旬から6月中旬にDUOの全大会を開かなければいけ
ない。(全大会からの分科会の流れ)もう一度、DUOの理念を理解してもらって、リーグ運

営のできる集団に戻していかなければならない。理事会案としては5月下旬から6月中旬に分科会もしくは全体会を開催する。」

- 早川氏（豊島学院）、橋本氏（立教池袋）「リーグ責任者が進んでいないクラブに電話で確認するなど。集まらなくてもできている。できていないチームに合わせるのは良くない。」
- 中塚氏（筑波大学附属）「以前も正式な会議は行っていなかった。クラブ代表者が集まりやすい日程で設定して、居酒屋でFace to Faceの対話ができる場だった。この時代だからこそ、顔を合わせる機会を設けることは重要である。」

○結論：今後の対応

- 2016年度前期リーグで問題があった巣鴨高校・都立豊島高校に対して厳重注意を行った。問題が起きた巣鴨 vs 竹早に関しては、0-3で巣鴨の不戦敗とする。豊島 Bvs 京華 Aについても、試合が実施できなければ、0-3で豊島 Bの不戦敗とする。両チームに再度問題が発生した場合は、即座に理事会や規律運営会議を開き、勝ち点没収・リーグ撤退などの処分を考える（発生した問題の詳細については添付資料参照）今後リーグ戦の運営に関して同様の問題が発生しないように、各リーグの責任者が中心となりリーグ運営の進捗状況を管理していく。2017年度前期リーグでは必要に応じてリーグ戦途中（5月下旬～6月中旬）でのリーグ毎のミーティング（分科会）や全体会も開催する。
- 一方的な理由での試合延期に関しては基本的に認められないが、万が一必要な場合は2週間前までに相手チームと協議の上、メーリングリストに発信する。2週間前を過ぎてからの一方的な理由での試合延期に関しては没収試合として0-3の不戦敗とする。直前ではない場合でも一方的な場合の延期は、試合延期を申し出たチームが試合会場や日程調整を担当するものとする。

検討課題②：大会規定の再確認 & プログラム原稿の未提出に関する問題

○提議（チェアマンより）

今年度より地区トップリーグやTリーグに大会規定を合わせるということで、1部リーグの規定が変わった。試合時間や交代枠、上位リーグ出場者の規制など。5名以上の交代がなかったかの確認が必要。同じくリーグ戦途中の会議で問題の共有がほしい。上記問題にも関わってくるが、どのメンバーが出ているのかが把握できない問題。紳士協定となっているDUOリーグではこのメンバー票に関しては生命線になってくるのではないかと。実はこのメンバー票に関しては前年度も問題となっており、2年連続の問題提起となっている。改善されていない問題である。早急な対応が必要である。メンバー票未提出は没収試合など、マネージャーズミーティングをするなどの高体連の公式戦のような厳しさが必要とってくるのではないかと？20名のエントリーの内、5名の交代が限度となっている。それが把握できなければ意味がない。プログラム原稿の提出は義務。出さないクラブが得をする世界はあってはならない。7月7日に豊島高校からプログラム原稿を提出してもらった。添付いたします。ご確認ください。

○検討の過程

- 岩野氏（チェアマン）「豊島では5名以上の交代が行われていた。豊島高校の場合、Tリーグでは規定に沿った運営ができている。豊島高校以外のクラブでは、少しの遅れはあったがプログラムの提出はできていたようだ」
- 事務局「今年度は結果登録サイトへの選手名入力を事務局で行ったが、プログラム原稿がいい加減であると結果登録サイトの入力でも混乱することになる。AチームとBチームの住み分けなどもして欲しい。」
- 早川氏（豊島学院）、蓑輪氏（江北）「住み分けはできている」

- 岩野氏（チェアン）「今までやらなくてはいけないことの確認として、試合前のメンバー表の交換。これを徹底してほしい。明日からのリーグ戦ではマストとする。特に 1 部リーグは、最大 20 名のエントリーが試合前にハッキリしていなければ試合はできないはず。交代枠も 5 名であって、だれが出ているのかが把握できていなければならない。1 部では本部運営があるのがのぞましい。ない場合であっても対戦相手がしっかり監視するべきことで、メンバー表の交換もないまま試合が始まって、交代が誰なのか、5 名の交代枠以上を使っている、などと言っても出してしまった側だけの責任を問えない。責任追及するためにもメンバー表の交換の徹底を。」
- 中塚氏（筑波大学附属）「かつての DUO リーグは審判担当チームが本部機能も兼ねてきた。試合記録も審判担当チームが記載していた。試合記録の用紙に審判評価の欄があるのは、審判が両チームに試合記録の確認をする際に、審判自身へのフィードバックを得るため」
- 事務局「最近、「主催チーム」の定義も曖昧になっているのではないか。」
- 岩野氏（チェアン）「ホームチーム＝主催クラブだと考えていた。審判担当チームではなく、ホームチームが主催クラブとして試合記録を書くようにしていた。」
- 嶋野氏（城西）「誰が試合記録を書くか、誰を主催クラブと呼ぶかは会場毎に違っているように思う。現状で運営上問題がないようであれば明確に決定する必要もないのではないか。」
- 事務局「おおまかに審判担当クラブが記録の責任を持ち（記入は審判クラブもしくは会場クラブ）、会場校もしくは主催クラブが、「記録を ML に流す」「サイトを更新する」「記録用紙を用意する」と役割を分担してはどうか」

○結論：今後の対応

- 試合前のメンバー表の交換を徹底する（メンバー表を持参していない場合、手書きで作成しメンバー表が交換されるまで試合は開始しない）。メンバー表には先発メンバーだけではなく、リザーブメンバーも明記する。プログラムに掲載されているメンバー表のフォーマットが活用できる。
- 試合記録の作成は「審判担当クラブ」が責任を持つ。試合記録のメーリングリストへの配信やWEBサイトの更新は「会場クラブ」が責任を持つ。会場クラブの負担が大きい場合などは、ホームチームが記録発信を行うなど当該クラブで協議の上、臨機応変に対応する。
- 各試合毎に DUO リーグより支払われる費用は、「審判担当クラブ」への審判手当 2000 円と「会場クラブ」への会場手当（石灰等必要備品代として）1000 円とする（「主催クラブ」手当ではない）。「主催クラブ」とは、「会場クラブ」が務めることを原則とし、場合によっては試合の日程調整などを行った会場クラブ以外のクラブが務める場合がある。

検討課題③；HP への掲載に関するプライバシーポリシーの徹底について

○提議（チェアマンより）

今年度、加盟票にプライバシーポリシーをつけるという前回の理事会決定があったのだが、岩野が付け忘れてしまった。来年度より加盟票の配信を事務局からの配信しプライバシーポリシーに関しても加盟票または別紙で集めていかなければいけない。2017 年度は事務局へプライバシーポリシーの作成を依頼している。

○検討の過程

- 宮坂氏（駒込）「個人情報についてはデリケートな問題であるため、ホームページでの記載内容なども含めて検討する必要があるのではないか」

○結論：今後の対応

➤ 個人情報の扱いについて理事会に持ち帰って検討する。

2) 各リーグ進捗状況と順位決定戦（昇降格の確認も含めて）

○各リーグ責任者より

宮坂氏（1部A）「豊島の試合に関しては現在調整中。それ以外は順調である。」

藤巻氏（2部B）「棠鴨の試合も含めて未消化試合は全て日程が決まっています、今後消化できる見込み。」

小俣氏（2部C）「豊島の試合に関しては不明。それ以外は順調である。」

石原氏（3部D）「都向丘がリーグスタートの段階で試合が行えていなく懸念していたが、途中から挽回した。月末で雨天がなければ全試合実施できる見込み。」

中塚氏（3部E）「筑波大学附属の優勝が決定した。残りの文京試合も含め、消化できる見込み」

○順位決定戦の確認

順位決定戦を8月中に行う。40分ハーフ、即PK。雨天で流れてしまった場合に関しては、9月中に行うものとする。（試合が組めなかった場合は、次年度、勝ち点マイナススタートも有りうる）

3) DUO リーグ・アウォーズについて

DUO リーグアウォーズは新人戦の組み合わせ抽選会に合わせて 10月中旬に駒込高校で行う。

4) サロン 2002・事務局より

➤ HPリニューアル作業に関しては事務局で進める。

➤ プログラム代金、リーグ参加費未納のクラブはすぐに振り込むように。

Ⅱ. 後期イベントについて

【事業部長・杉本先生より】

後期も11人対11人のリーグ戦をやりたいという希望があったため、2016年度後期リーグについては、従来のフリーサイズフットボールに加えて、参加希望チームを募り11人対11人のフレキシブルリーグを開催する。フレキシブルリーグは、30分ハーフとし、連戦や不消化もありとする。今後、8月23日を締め切りとして参加チームを募り、9月7日19時に日程調整を行う。（詳細は後日メーリングリストで発信する）チャンピオンシップは11vs11のフルサイズとなり、20分1本（または20分ハーフ）などのワンデーターナメントでチャンピオンを決定する予定。

【チェアマンより】

リーグ戦は参加チーム数に応じて5~6チームのブロックを作る。フリーサイズサッカーも昨年度同様京華・郁文館・筑波大附属・本郷を中心に積極的に開催して欲しい。多くのチームに参加して欲しい。

Ⅲ. リーグ戦以外の事業について

1. DUO リーグ主催事業

1) 審判講習会

➤ 海老根氏（日大豊山）「3月21日に審判講習会を開催した。」

➤ 事務局「本日会議終了後に欠席者に対する返金を行う。」

2) 技術講習会

➤ 早川氏（豊島学院）「現在、具体的な計画はなし。今後地区選抜の活動に合わせて検討する。」

3) 栄養学&トレーニング講習会 (サロン 2002&リソスポ)

- 岸 (サロン 2002) 「本日、DUO リーグ会議前にリソスポに協力いただいて「栄養学&トレーニング講習会」を実施した。毎年、テーピング講習会を実施したが、今回はリソスポの提案で内容を変更した。

<DUO リーグ栄養学&トレーニング講習会>

日時：7月18日(月) 14:00 受付 14:30~16:00 (17:00~ DUO リーグ会議)

場所：筑波大学附属高校 3 階会議室

対象：高校運動部のマネージャー、顧問、選手、保護者など

持ち物：筆記用具、実技実施可能な場合は動ける服装、

スタッフ参加予定人数：9 名

プログラム：

14:30~ 挨拶、講義の流れの説明

14:40~ 講義 【栄養学】 質の良い食事とは？

15:10~ 実技 【トレーニング】 ベストパフォーマンスを発揮する為のトレーニング

16:00 終了

2. DUO リーグ共催・後援・協力事業

1) リサイクルプロジェクト

- 岸 (サロン 2002) 「今年度はまだ開催していない。今後計画していく。」

IV. その他

- 岩野氏 (チェアマン) 「審判着の着用の徹底を検討している。(主審は全身・副審は上のみ義務など)。毎年審判講習会を開催することに 20 万円程度の収入があるため、余剰金にて 2 着から 3 着の審判着の無償配布を検討 (イエローカードなどの備品も含め) する。毎年送るのではなく 1 度に送るイメージ。理事会で検討する」

V. DUO リーガーからの一言

浜道氏 (京華) 「リーグ戦の裏側でどのようなことが起きているか分かり勉強になりました」

志村氏 (筑波大学附属) 「審判に関する事など自分達も関係する。知ることができて良かった」

井山氏 (筑波大学附属) 「これからもリーグの運営や審判について学べていければ良い」